

2020年5月2日（土） 麻布高校生14名が「未来への提案」を発表 “休校をチャンスに変える”コンテスト



5/2開催 休校中の高校生に「ピンチをチャンスにする力」を授けるべく、アントレ（起業）教育を提供している「DECA JAPAN」が麻布高生とコラボし、オンラインコンテストを初開催します 「よりよき世界を実現したい」高校生たちの挑戦をサポートしている教育機関「DECA JAPAN」（和歌山市）は、「麻布学園高校」（東京・港区）の生徒とタッグを組んだオンライン・ビジネスプランコンテスト「AZB x DECA JAPAN」を、2020年5月2日（土）に開催します。

「x DECA JAPAN（バイ・デカ・ジャパン）」とは

コロナ感染拡大により休校中の高校生が、未来への希望や展望を持ち続け、「ピンチをチャンスに変える力」にして欲しいとの思いから、「DECA JAPAN」（「一般社団法人カピオン エデュケーションズ」が運営）が2020年4月より開始したアントレ（起業）教育プログラム。

ビジネスプランの作り方から効果的なプレゼンの方法、アドバイザーによるメンタリングまで、学びの場をオンラインで提供。

第1弾は、麻布高校とのコラボにより実現。本プログラムでは、発起人の同高校3年生・洪 克樹（こう・かつき）さんの「麻布生による、麻布生のためのビジネスプランコンテストを開催しよう」というかけ声のもと、14名の生徒（高3/9名、高2/4名、中2/1名）からの応募があり、4チームを結成。4月中旬から、オンラインでビジネスを学び、テクノロジーを使って世の中の問題を解決するプランづくり→アドバイザーらによるメンタリングを繰り返してきましたが、その情熱的な集大成が各チームのプランとなり、プログラム最終日のコンテストにて発表。麻布におけるNo.1ビジネスプランが決定します。

■ ビジネスプランに詰め込んだ、麻布生たちの「未来への提案」

コンテスト当日は、各チームがそれぞれ8分間でビジネスプランを発表し、第一線で活躍している起業家など5人の審査員により審査が行われます（1チームにつき15～20分）。連絡をいただいた報道機関・メディアのみなさまは、このコンテストにご招待いたします（Zoomで開催）。

また、DECA JAPANおよび麻布生の代表者などにもオンラインインタビューも可能ですので、ご多忙の折とは存じますが、ぜひ取材をご検討ください。DECAについて「DECA」は、世界中の高校生20万人が登録する、米国発「未来のビジネスリーダーを育成する」ための教育プログラム。全米各州の教育省も認定しており、大学進学適性試験「SAT」や「ACT」と並び、大学入試に活用されている試験でもある。

日本でも、2018年12月より「DECA JAPAN」が、国内外の高校生を対象に、教育プログラムの提供およびコンテストを実施している <https://www.japandeca.org/>

<報道機関・メディアからのお問い合わせ先> DECA JAPAN（一般社団法人カピオンエデュケーションズ） <https://www.japandeca.org/> 本部/和歌山県和歌山市秋月198-14 東京本部/東京都千代田区九段南1-5-6 KSフロア 担当：佐藤 メール：pr@kapiion.net 携帯電話：050-55344484